

## 【ごみ減量アイデアコンテスト】

ごみダイエット大作戦の一環として開催したコンテストで、市民の皆さんからごみの減量化に向けたアイデアを募集し優秀なアイデアの表彰を行った。  
また、提出されたアイデアを情報提供し、減量効果のあるアイデアをモデル事業として実践する。

### 1. スケジュール

平成 30 年 5 月 14 日～6 月 11 日 アイデア募集受付期間  
平成 30 年 6 月 15 日 一次審査（書類審査）  
平成 30 年 7 月 7 日 二次審査（プレゼンテーション大会）

### 2. 応募数

5 1 個（二次審査に進んだアイデアは 6 個）

### 3. 表彰・褒章

最優秀賞（1点） 10万円

「みんなで、楽しく、食材ロス 0 を目指そう！

#食材無駄なく使ってみた #捨てないよ #もったいない」

宇部フロンティア大学附属香川高等学校

生活デザイン科 2 年 佐竹 倅太 ・ 河村 百音

優秀賞（2点） 5万円

「古着・古布回収でごみ減量と地域活性化！」

西岐波校区コミュニティ推進協議会

「食育を通じて、台所ごみの脱水による水分減量を

32g/一日/一人を実現する」

ESD うべ推進協議会 と

かみうべまちの駅「かみうべまちカフェワークショップ」共同提案

アイデア賞（1点） 1万円

「明日のお弁当にするけえ、置いちよって～」

宇部フロンティア大学附属香川高等学校 専門科生徒会

※二次審査に進まなかったものの中から、個人で手軽に取り組めるアイデアを決定。

#### 4. アイデアの活用

応募いただいた作品は、ホームページ等で市民に広く周知して活用する他、減量効果の見込まれる優れたアイデアについては、モデル事業として実施し減量効果を検証する。

### 【ごみ減量アイデアコンテストモデル事業】

#### 古着・古布回収モデル事業

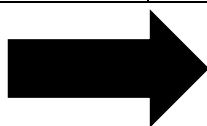
- 各ふれあいセンターに設置してある、古着・古布回収ボックスに加え、リユース（再利用）ボックスを設置し、販売及び売り払い収入を地域の収入とする。
- リユースボックスに集まったものは、地域の行事（夏祭り、運動会、文化祭、どんど焼き等）で、販売する。
- 古着・古布回収ボックス及びリユースボックスは、ふれあいセンター以外にも設置することが望ましい。（ただし、回収業者が回収に行くのはふれあいセンターのみ。）
- 地域は、販売及び売り払い収入が地域の収入になることを地域内にしっかり周知し、回収量を増やす。
- 古着等の回収業者との契約は市が行い、モデル事業実施地域への回収実績に応じた金額をモデル事業終了後、支払う。
- アイデア発表者である西岐波校区が10月から開始。

## 資源物地域拠点回収モデル事業

- 校区単位で、資源物（アルミ缶、新聞、雑誌、段ボール）の拠点回収を実施。
- 場所は、地域内で屋根があり、車が止められる場所などを選定。
- 管理（清掃や見回り、住民への周知、業者への連絡）等地域で対応。業者と直接契約（連絡調整）し、売り払い収入は地域に。
- 保管庫等備品の整備が必要な場合は、上限10万円を限度として市が助成。（モデル事業の間は、奨励金（助成金）などの支給はなし。）

## 集団回収の推移

年度	集団回収 (トン)	資源ごみ総量 (トン)	資源ごみに占める割合	実施団体数
H13	6,532	16,371	39.9%	379
⋮				
H25	2,589	9,614	26.9%	346
H26	2,211	9,149	24.2%	336
H27	1,993	8,747	22.8%	311
H28	1,811	7,010	25.8%	294
H29	1,621	6,623	24.5%	291



回収量・実施団体数ともに大幅に減少

## 資源物地域拠点回収のメリット

- ① 集団回収未実施の自治会等の住民の持ち込みが可能
- ② 古紙の日や燃やせないごみの日の排出量が減る
- ③ 地域に活動資金が入る
- ④ 3Rに対する市民意識の向上
- ⑤ 地域コミュニティの活性化